

令和3年度 全国学力・学習状況調査



北九州市環境マスコットキャラクター
ていたん&ブラックていたん
©ていたん&ブラックていたん、北九州市

北九州市教育委員会

はじめに

令和3年度全国学力・学習状況調査は、昨年度の調査中止に伴い、2年ぶりの調査となりました。

教育委員会では、これまで調査結果を基に北九州市の児童生徒の学習状況及び生活実態を分析し、課題把握と改善に向けて努めてまいりました。本年度の本市の結果を、全国の結果と比較してみると、学力調査では、いずれの学年・教科とも平均正答率は全国平均を下回っている状況です。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在もなお授業実施上における制限や学校生活において学びの在り方に工夫が求められる中、今回の調査では、一部の教科や領域等に改善が見られました。また、本市の課題であった「記述式」で解答する問題の正答率においても全国平均に対する割合が実施教科すべてで向上しました。さらに、児童生徒質問紙においても、ICT機器の活用状況や国語、算数・数学を学ぶ必要感等の質問で、肯定的な回答が全国平均を上回る項目が見られ、学校がポストコロナを見据え、粘り強く取り組んだ成果が表れています。

今回の報告書では「2 各教科の分析」において、「調査問題を活用した授業改善のための指導資料」を掲載しています。ここは、「全国的に課題の見られた問題を活用した指導例」や「基礎的・基本的な内容の定着を図る指導例及び知識や技能を活用した指導例」で構成しており、学習指導上、特に重要視される内容や身に付けるべき力等を定着させる指導方法を具体的に記載しています。特に「基礎的・基本的な内容の定着に向けた指導例」では、主に「知識及び技能」の習得を目指した指導方法を、「知識や技能を活用した指導例」では主に「思考力、判断力、表現力等」の育成を目指した指導方法を記載しており、段階的に指導できるようにしています。各学校の児童生徒の実態に応じて指導の際の参考資料として活用していただきたいと考えています。

なお、この調査において問われている学力は、「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」と、それらを実生活の様々な場面で活用する能力であり、これらは子どもたちがこれからの社会を生きていく上で大切な力です。それとともに、子どもの主体性や協調性、やり抜く力や自己肯定感等、いわゆる「学びに向かう力」も大切であり、その視点からも分析を進めていく必要があると考えます。したがって、今回の調査結果を基に「3 学習状況調査結果・分析」において、正答率で測る学力と「学びに向かう力」との相関関係を分析しており、今後は、その2つの力を両輪として育成する取組を進めていきたいと考えています。

令和3年10月

北九州市教育委員会

目 次

令和3年度 全国学力・学習状況調査 報告書

1 学力状況調査結果	p1 ~p9
(1) 令和3年度全国学力・学習状況調査結果について(概況).....	2
(2) 調査結果の経年推移.....	3
(3) 正答数分布グラフの経年比較.....	6
2 各教科の分析	p10~p28
(1) 小学校国語.....	11
(2) 小学校算数.....	15
(3) 中学校国語.....	19
(4) 中学校数学.....	23
(5) 今後の取組について.....	27
3 学習状況調査結果・分析	p29~p58
(1) 学習状況調査結果の経年推移の概況.....	30
(2) 児童生徒質問紙の回答結果の経年推移.....	31
(3) 今年度、新たに加わった質問事項の結果の概況.....	48
(4) 質問紙の「質問事項」と各教科の「正答率」との関係	50
(5) 児童生徒質問紙の結果から見る各教科の正答率との相関についての考察	57

1 学力状況調査結果



令和3年5月に市立の全小・中学校において全国学力・学習状況調査を実施した。調査の概況は以下のとおりである。

1 実施学年・調査内容

- ◇ 実施学年 市立の全小学校・関係特別支援学校 第6学年(131校)
市立の全中学校・関係特別支援学校 第3学年(63校)
- ◇ 調査内容 ① 教科に関する調査 小学校…国語・算数 中学校…国語・数学
② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 調査集計者数 小学校児童数 7,407人 中学校生徒数 6,764人

3 調査日 令和3年5月27日(木)

主な結果

令和3年度	小学校国語		小学校算数		中学校国語		中学校数学	
	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率	正答数	正答率
本市平均	8.8 / 14 問	63%	11.0 / 16 問	69%	8.8 / 14 問	63%	8.8 / 16 問	55%
全国平均	9.1 / 14 問	65%	11.2 / 16 問	70%	9.0 / 14 問	65%	9.1 / 16 問	57%

※ 結果公表にあたっては、文部科学省の方針に沿って細かい桁における微小な差異は学力面で実質的な違いを示すものではないという考えから、正答率は平成28年度より整数値で公表するようにした。

【結果1】 全国平均を上回る学校数が中学校で増加している。

中学校 平成31年度 13校 → 令和3年度 20校

※ 国語、数学の平均正答率の合計による比較

【結果2】 小学校算数、中学校国語、数学の正答率は、全国平均に近づいている。

小学校 算数 平成31年度 96% → 令和3年度 98%
 中学校 国語 平成31年度 95% → 令和3年度 97%
 数学 平成31年度 93% → 令和3年度 96%

※ 全国平均正答率を100%として比較

【結果3】 小学校国語において、「書くこと」の領域で、全国平均を上回っている。

小学校 国語「書くこと」平成31年度 96% → 令和3年度 106%

※ 全国平均正答率を100%として比較

【結果4】 本市で課題となっていた記述式の問題の正答率において、全国平均に対する割合の向上がみられている。

小学校 国語 平成31年度 100% → 令和3年度 101%
 算数 平成31年度 96% → 令和3年度 97%
 中学校 国語 平成31年度 97% → 令和3年度 100%
 数学 平成31年度 90% → 令和3年度 94%

※ 全国平均正答率を100%として比較

【結果5】 小学校国語の平均正答率は、平成31年度に全国平均を上回っていたが、今年度は下回っている。

平成31年度 102% → 令和3年度 97%

※ 全国平均正答率を100%として比較

調査結果の経年推移

平成22・24年度は、全国調査において、抽出調査及び希望調査利用方式で実施された。本市では全小・中学校で実施。

■ 各教科における本市と全国の平均正答率及び本市の全国平均正答率に対する割合(平成22年度～令和3年度)

※H23, R2年度は未実施

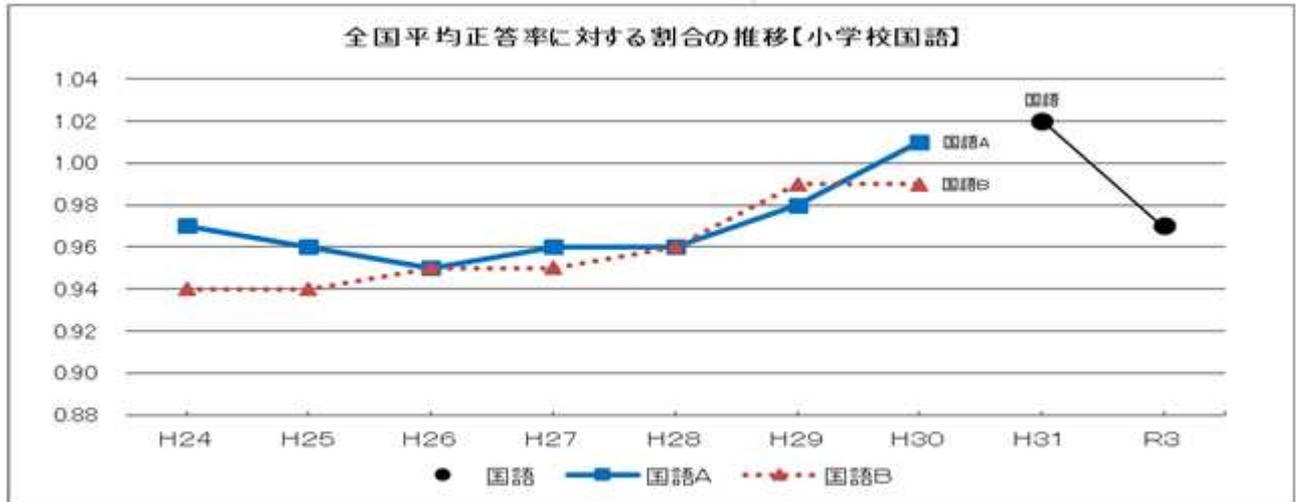
小学校							中学校									
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	合計		国語A	国語B	数学A	数学B	理科	英語	合計		
H22 年度	本市	82	74	71	47		274	H22 年度	本市	75	66	61	41		243	
	全国	83	78	74	49		285		全国	75	65	65	43		248	
	対全国比	98%	95%	96%	96%		96%		対全国比	99%	102%	94%	94%		98%	
H24 年度	本市	79	52	70	56	60	317	H24 年度	本市	74	61	59	44	49	287	
	全国	82	56	73	59	61	331		全国	75	63	62	49	51	300	
	対全国比	97%	94%	96%	95%	98%	96%		対全国比	98%	97%	94%	89%	95%	96%	
H25 年度	本市	60	46	75	57		238	H25 年度	本市	75	65	60	38		238	
	全国	63	49	77	58		248		全国	76	67	64	42		249	
	対全国比	96%	94%	97%	97%		96%		対全国比	98%	96%	95%	92%		96%	
H26 年度	本市	69	53	76	55		253	H26 年度	本市	77	48	62	54		242	
	全国	73	56	78	58		265		全国	79	51	67	60		258	
	対全国比	95%	95%	98%	95%		96%		対全国比	97%	93%	93%	91%		94%	
H27 年度	本市	67	62	73	44	57	303	H27 年度	本市	74	63	62	38	50	287	
	全国	70	65	75	45	61	316		全国	76	66	64	42	53	301	
	対全国比	96%	95%	98%	97%	95%	96%		対全国比	97%	96%	96%	91%	94%	95%	
H28 年度	本市	70	56	76	45		246	H28 年度	本市	74	64	59	41		237	
	全国	73	58	78	47		256		全国	76	67	62	44		248	
	対全国比	96%	96%	98%	95%		96%		対全国比	97%	96%	95%	93%		96%	
H29 年度	本市	74	57	77	44		252	H29 年度	本市	77	70	62	45		254	
	全国	75	58	79	46		257		全国	77	72	65	48		262	
	対全国比	98%	99%	98%	97%		98%		対全国比	99%	98%	95%	94%		97%	
H30 年度	本市	71	54	61	50	60	296	H30 年度	本市	75	60	63	44	64	306	
	全国	71	55	64	52	60	301		全国	76	61	66	47	66	316	
	対全国比	101%	99%	96%	96%	99%	98%		対全国比	99%	99%	95%	93%	97%	97%	
H31 年度	本市	65		64			129	H31 年度	本市	69		56			51	176
	全国	64		67			131		全国	73		60			56	189
	対全国比	102%		96%			98%		対全国比	95%		93%			91%	93%
R3 年度	本市	63		69			132	R3 年度	本市	63		55			118	
	全国	65		70			135		全国	65		57			122	
	対全国比	97%		98%			98%		対全国比	97%		96%			97%	

平成31年度より従来のA問題(知識・技能等)とB問題(活用等)という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題としている。

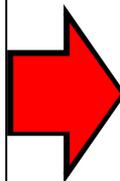
※ 正答率と対全国比は詳細な数値で計算をしているが、整数値で表記している。

■ 全国平均正答率に対する割合(平成24年度～令和3年度)

小学校国語

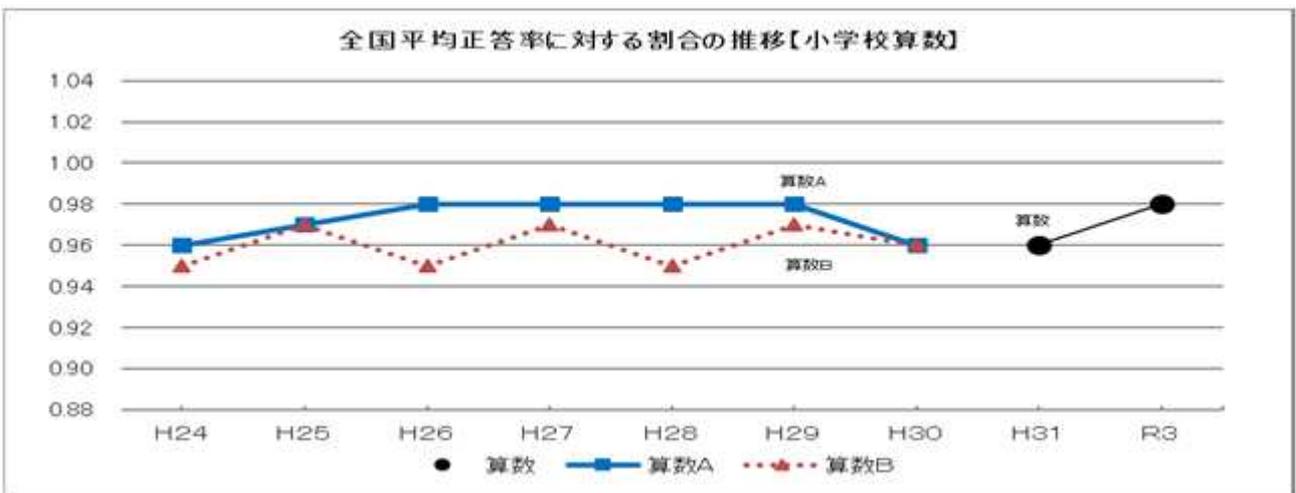


平成31年度正答数 (全国比)
9.1 / 14問 (102%)

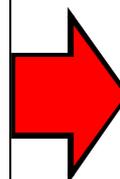


令和3年度正答数 (全国比)
8.8 / 14問 (97%)

小学校算数

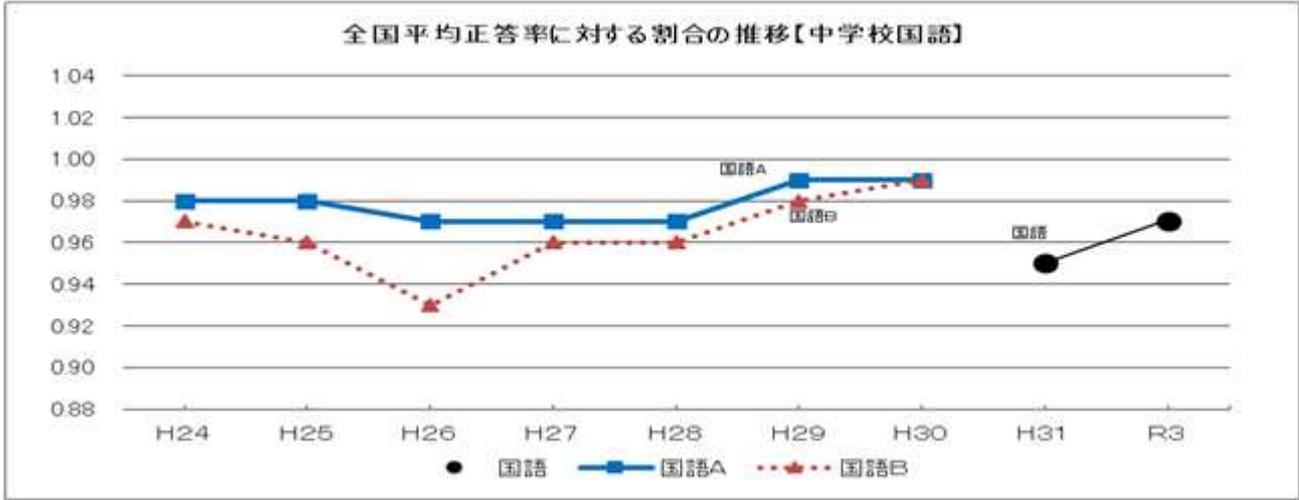


平成31年度正答数 (全国比)
9.0 / 14問 (96%)

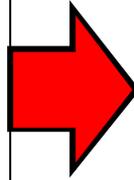


令和3年度正答数 (全国比)
11.0 / 16問 (98%)

中学校国語

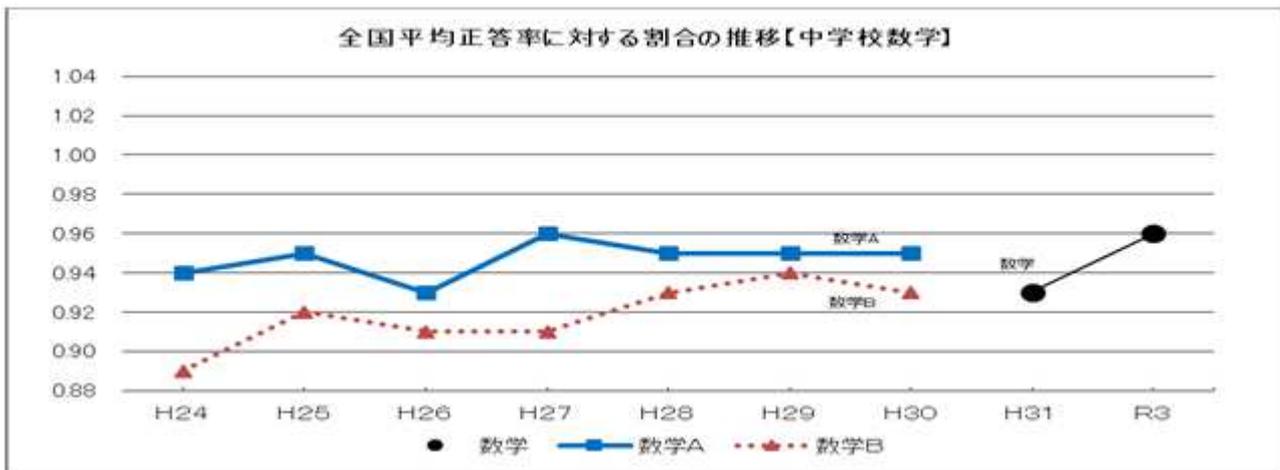


平成31年度正答数(全国比)
6.9 / 10問 (95%)

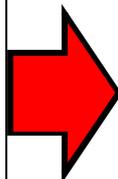


令和3年度正答数(全国比)
8.8 / 14問 (97%)

中学校数学

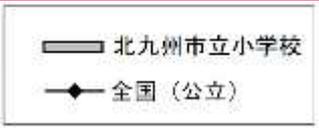


平成31年度正答数(全国比)
8.9 / 16問 (93%)



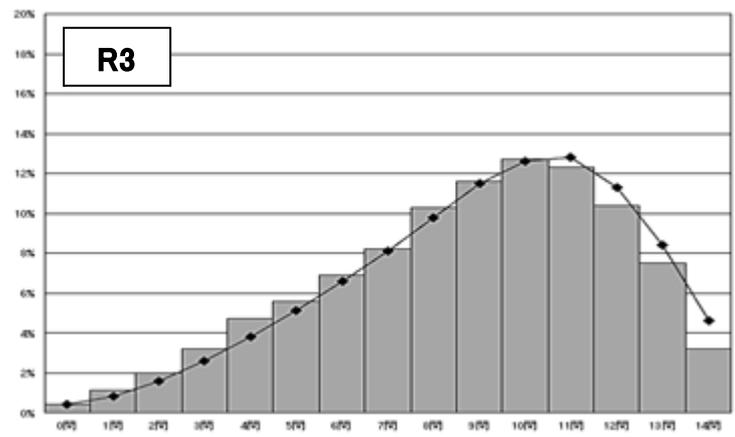
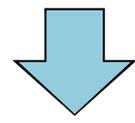
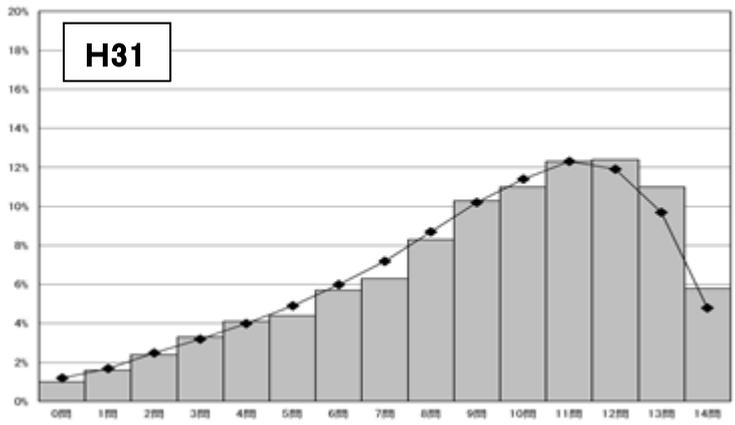
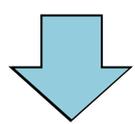
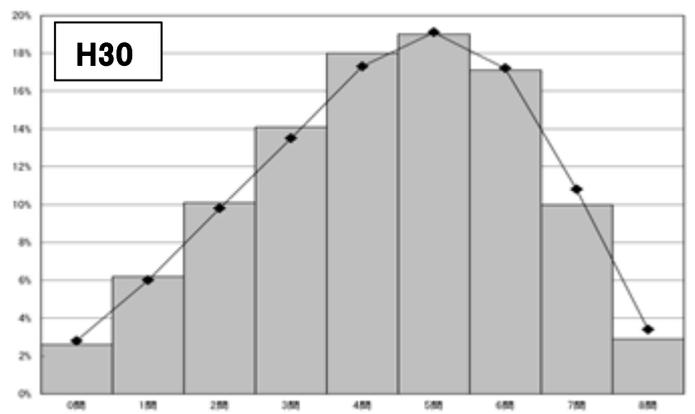
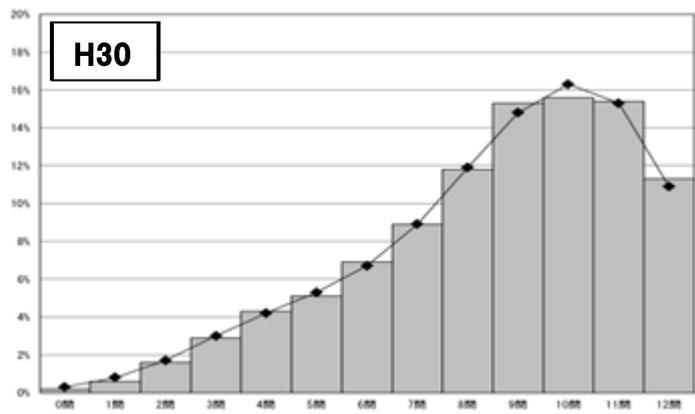
令和3年度正答数(全国比)
8.8 / 16問 (96%)

正答数分布グラフの経年比較 ①小学校国語



小国A

小国B



小学校国語では、高位層が中位層に移り、分布は全国平均より左側に移っている。

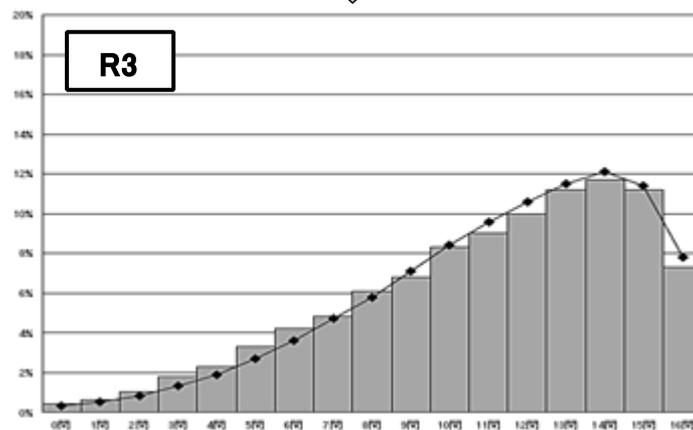
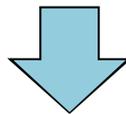
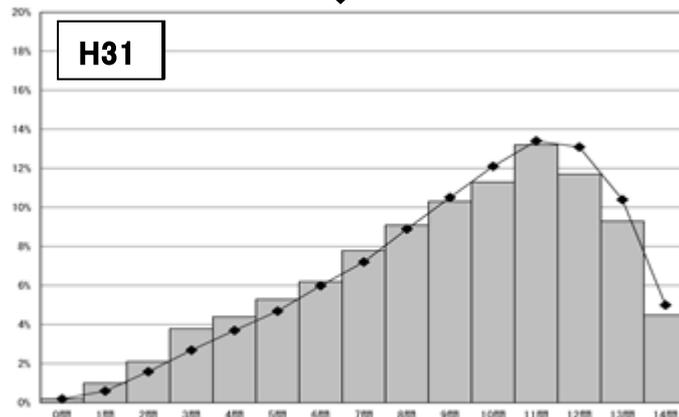
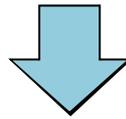
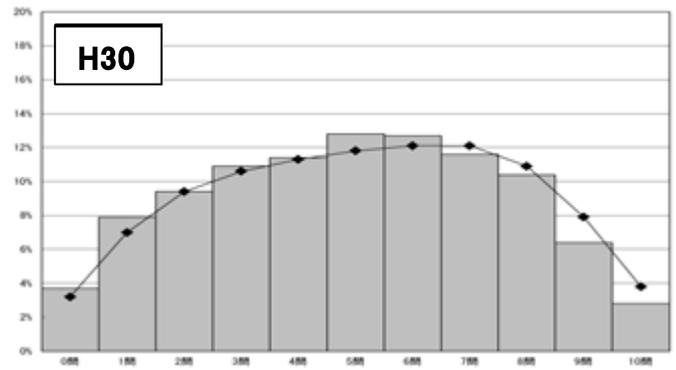
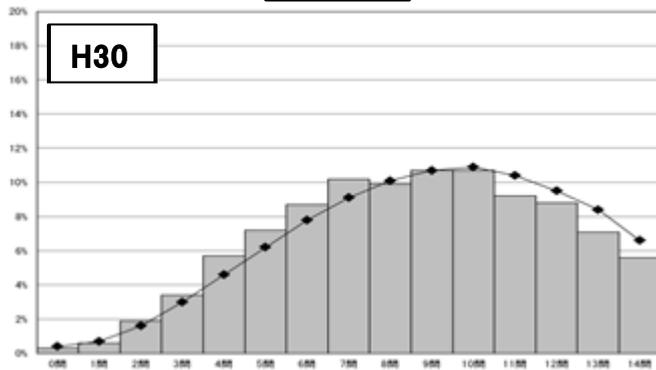
- 正答率 80%以上(12~14問)の割合は、21.1%である。〈H31(12~14問) 29.2%〉
- 正答率 40%以下(0~5問)の割合は、17.0%である。〈H31(0~5問) 16.8%〉

②小学校算数

北九州市立小学校
 全国（公立）

小算A

小算B



小学校算数では、低・中位層が中・高位層に移り、分布は全国平均に近付いている。

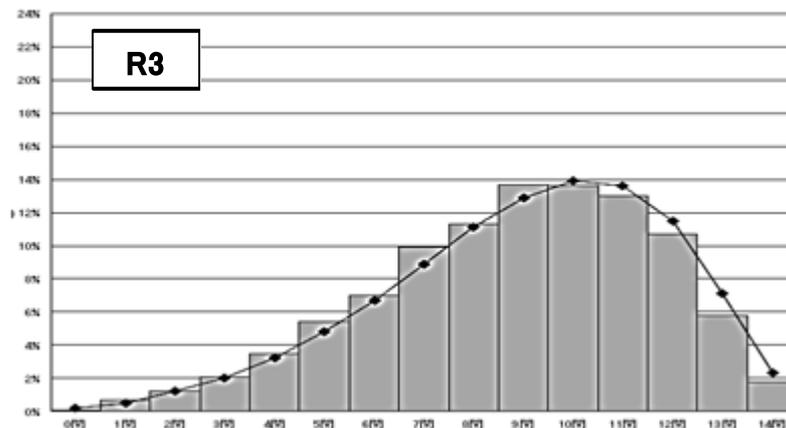
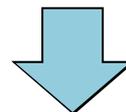
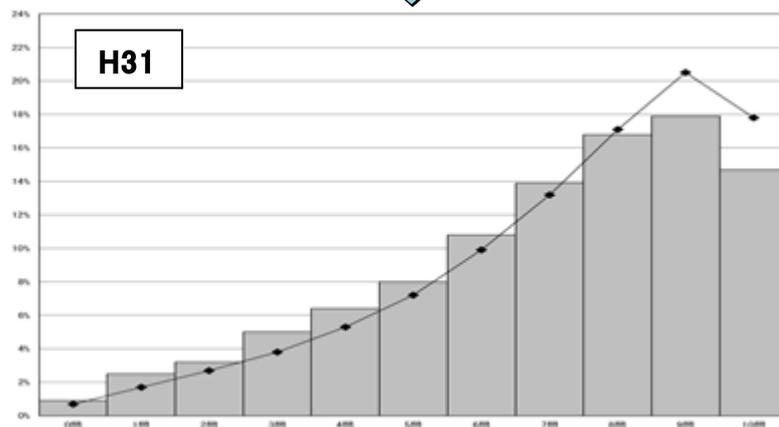
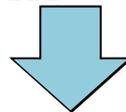
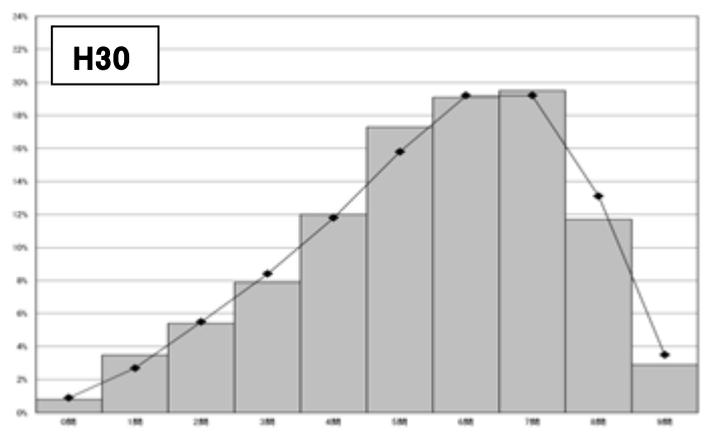
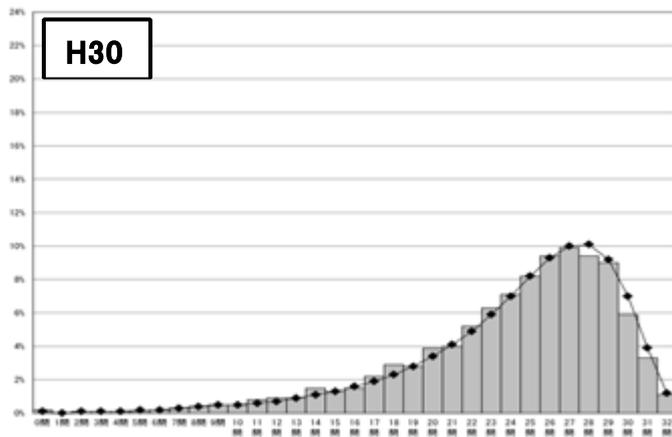
- 正答率 80%以上(13~16問)の割合は、41.4%である。〈H31(12~14問) 25.5%〉
- 正答率 40%以下(0~6問)の割合は、13.6%である。〈H31(0~5問) 16.8%〉

③中学校国語

北九州市立中学校
 全国（公立）

中国A

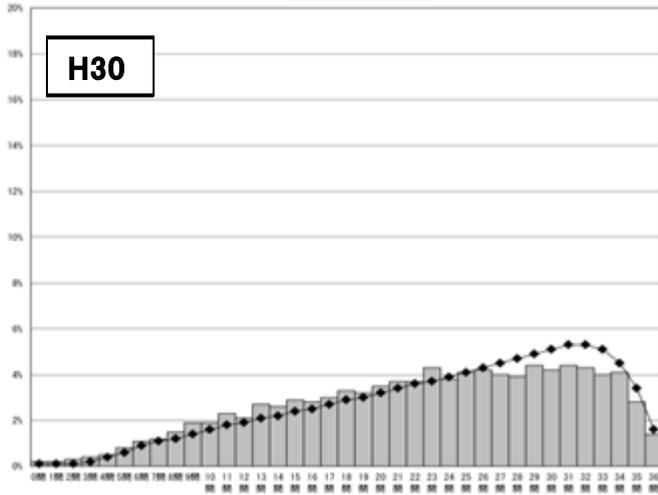
中国B



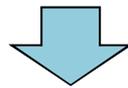
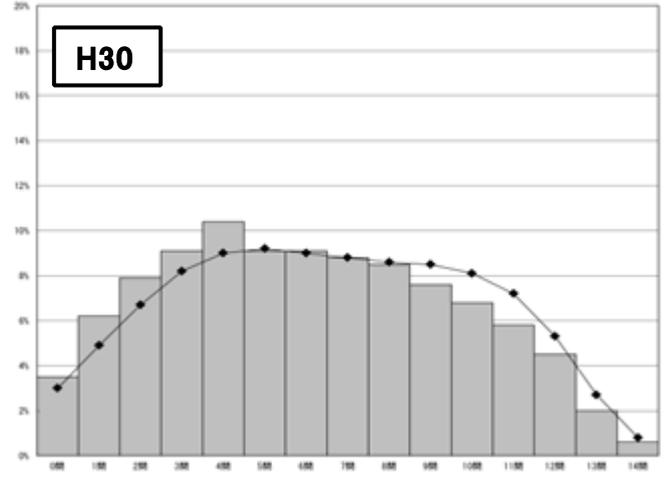
中学校国語では、低位層と高位層が中位層に移り、分布は全国平均に近付いている。

- 正答率 80%以上(12~14問)の割合は、18.3%である。〈H31(8~10問) 49.4%〉
- 正答率 40%以下(0~5問)の割合は、13.0%である。〈H31(0~4問) 18.0%〉

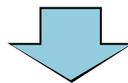
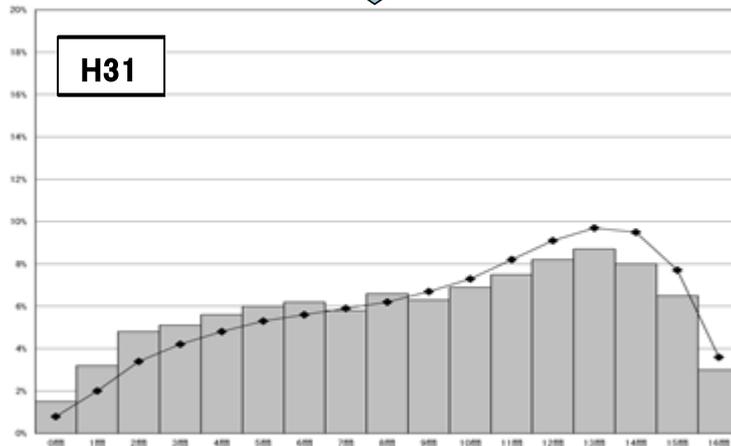
中数A



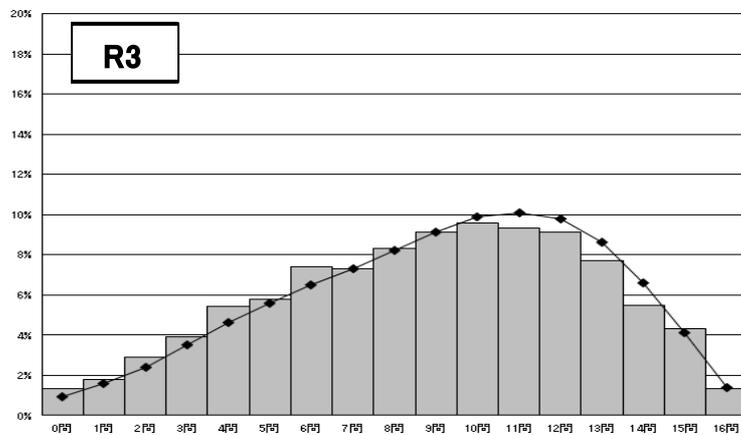
中数B



H31



R3



中学校数学では、低位層と高位層が中位層に移り、分布は全国平均に近付いている。

○正答率80%以上（13～16問）の割合は、18.8%である。〈H31（13～16問） 26.2%〉

○正答率40%以下（0～6問）の割合は、28.5%である。〈H31（0～6問） 32.4%〉